

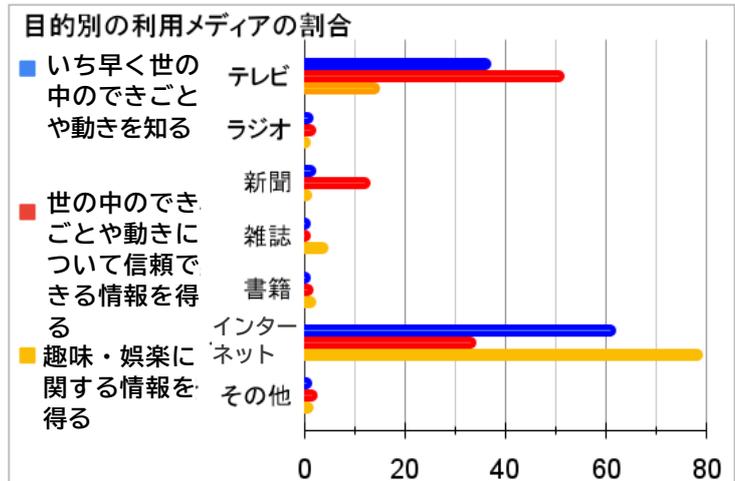
インターネットトラブルを防ぐために

発行：岩見沢市教育委員会 指導室 青少年センター

私たちが、誤・偽情報の発信源にならないために

私たちが1日に受け取る情報量は、江戸時代の1年分に相当すると言われていいます。以前は、テレビや新聞などのマスメディアからの情報が主でしたが、今はSNSなどソーシャルメディアからの情報が多くなっています。しかし、その情報には多くの誤・偽情報（フェイクニュース）が含まれており、情報を正しく使いこなしていく力【メディアリテラシー】が重要です。

1. 本当に正しい情報？事実？意見？
2. 根拠は？情報源は？
3. 他の見方をすると？



総務省情報通信政策研究所 「令和5年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」より作成

そして、次に大切なのが「私たち自身が誤・偽情報（フェイクニュース）を安易にシェアしたり、リポストしたりして、誤・偽情報（フェイクニュース）の発信者にならないこと」です。

そのためには「SNSなどの投稿を読むとき、自分の感情をチェックする」ことが必要です。

その投稿は、あなたの「怒り」「恐怖」「悲しみ」「正義感」をおおるものではありませんか？

人を感情的にさせることは、冷静な判断力を奪い、**反射的に情報をシェアさせるためのよくある**

方法です。心を揺さぶられた時こそ、一呼吸おいて「誰かが、意図的に私の感情を操ろうとしていないだろうか？」と疑ってみることで。

シェアした投稿が、もし、誤・偽情報だったら、その誤・偽情報が世界に広がっていくのです。

中学校3年生公民の授業で誤・偽情報について学びます。ご家庭でも話題にしてみてくださいはいかがでしょうか。

